

## 3月議会活動報告

## 総額298億の予算に!

国の補助金等も活用し、  
3月補正で事業を前倒し!

いながき



いとう

25年度一般会計予算は、178億4千万円(前年8.4%減)。国民健康保険76億20百万・介護保険30億15百万円等5つの特別会計を加えると、総額298億3,721万円(前年3.8%減)となりました。一般会計では、新駅の工事負担や美南小学校建設・整備が24年度で終了したことにより減少しましたが、国保・介護保険会計は拡大。国保は2億2,871万(前年3.1%増)、介護保険では2億5,481万円(前年9.2%増)と、高齢化の影響が表れています。

代表質問では市長の施政方針を受け、今年度の重点テーマに沿って伊藤が質問を行いました。

## 平成 25 年度の主な新規・継続・拡充事業

**防災対策** 昨年に引き続きソフト・ハード面の整備が進みます。平沼地区公民館跡地に防災備蓄倉庫、旭・三輪野江小学校に耐震性貯水槽を設置。また、避難拠点である小・中学校に災害用便槽トイレを整備。栄小体育館の耐震補強・大規模改修、吉川小では改修に向けた設計、中曽根小・中央中体育館の照明器具落下防止対策。学童保育室・認可保育所は窓ガラスと蛍光灯の飛散防止対策を実施。また、下河岸ポンプ場の排水ポンプ交換や市内172カ所の橋の調査と長寿命化計画を策定。

新庁舎については、建設推進本部に設置された3つの専門部会で新庁舎の施設・周辺環境、設備、施設利用の調査中。平成28年度の竣工を目指し、基本設計に着手しパブリックコメントも。

**子育て支援** 美南小学校内に子育て支援センター及び学童保育室が開設されます。家庭訪問型子育て支援として、ホームスタート事業が始まります。閉じこもりや育児放棄・虐待等、社会的孤立を防ぐため直接訪問してその兆候をつかみ、相談にのったり、素早い対応をします。

**学校関連** 懸案の『学校給食センター』建て替えについては、PFI導入可能性調査を実施するとともに、建設用地の造成工事を実施。関小・北谷小プール改修を継続・繰越事業として工事。その他、小学校での一人一台のパソコン整備、算数・数学での少人数指導教員配置等。

**吉川美南駅関連** 周辺開発地区については、平成26年度末市街化区域編入へ向けた基礎調査を実施。環境影響調査、事業計画案の作成を委託。美南駅西口駐輪場の管理が市へ移ることから、有料化を開始。東口暫定駐輪場は無料を継続。

**道路整備** 越谷吉川線の大場川東から加藤平沼線までの区間の用地取得及び大場川に架かる橋の設計を実施。

**高齢化対策** 介護予防として、健康運動教室への支援。美南小内に高齢者ふれあい広場を開設。

**その他の事業** 乳幼児・小学生へのインフルエンザ予防接種費用の一部助成。駅南二郷半用水路沿い緑道整備他、増え続ける生活保護受給者に対する自立支援を行う生活保護支援員を非常勤職員とします。また、地方分権改革推進の権限移譲に伴い、未熟児養育医療給付事業や旅券の発給事務等が新たに始まります。(\*新庁舎建設問題については、改めて特集号で報告いたします)

いながき・いとうの

## 3月議会報告

4月13日(土)午前10時00分～  
おあしすセミナールーム

どなたでも

いながき 茂行 栄町782番地1C-1101 TEL 983-1628

Eメール iimachi.yoshikawa@gmail.com

いとう 正勝 きよみ野2-8-2 TEL&amp;FAX 983-1117

Eメール itoh72@nifty.com

\*市民改革クラブのホームページは いながき茂行のサイトと

統合しました <http://www.inagaki-s.com>

## 税の徴収力強化について質問・提言 いながき 茂行

厳しい経済情勢が続く中、税金等の未収金が増え続けています。行政運営の源である税。財源がなければ、市民サービスに必要な事業も職員を採用することもできません。徴収状況と徴収力向上の取組について、質問、提案しました。

### 徴収状況とこれまでの取組は

25年度一般会計予算では、歳入の中心である市税(市民税・固定資産税・都市計画税等)は86億1千300万円、歳入合計の48.3%です。

23年度決算では、市税の収納率91.97%。滞納率は8.0%で、滞納繰越額は7億1千400万円。滞納者は、3,460人。差押え件数520件、7,383万円を徴収しました。

市は、『自主納付を促すことが滞納整理の基本と考え、文

書や電話による催告を行っている』『これまでも徴収力向上対策として、新たに収納課の設置やコンビニ収納の導入(H18年)、夜間・休日の納税相談の回数を増やす等、改善を図ってきた』と答弁。

しかし、この10年、全体では大きな変化は見られません。むしろ、国民健康保険や介護保険を加えた毎年の不能欠損額は増加しています。1億円近くが時効等により徴収権が消滅し、欠損処理されています。

### 早急に対策を講じ 公正・公平な徴収を

民間企業であれば、売上や利益は即給与やボーナスに反映されます。役所では収納率が悪くても、ボーナスや給与には響きません。また、ルーチン業務に追われ、滞納整理や債権回収に手が回らない事も一因。

最大の課題は、知識や経験等専門性とチームワークが求められる債権回収組織体制が出来ていない事だと考えられます。

## 先進自治体に 学ぶべきでは

徴収率を上げ、滞納額の縮減を図ることは、自治体の共通課題。千葉県船橋市や神奈川県秦野市では、滞納された市税や国民健康保険税等の一元徴収で大きな成果を上げている。

船橋市では、H12年88.78%まで下がった徴収率を19年94.28%まで引上げ、100億円を超えていた滞納額を53億円に縮減しました。

昨年の11月、船橋・秦野市へ行き、直接伺ってきた取組の内容・経過から、吉川市の課題と新たな組織の必要性を提言。

### 全債権の一元管理し、 滞納債権徴収を

速やかに、市の債権を一元的に取り扱う組織を作り、専門性と意識の高い職員の育成に努めることが、『持続可能な財政運営』への近道では。



3月議会は2月26日から3月21日まで開催。36議案を審議し、全議案を可決。

#### 代表質問

市長の施政方針を受け、防災・減災対策。子育て、長寿・健康施策。新庁舎建設・学校給食センター建設。ウーマノミクスの取組。地方公務員の給与削減要請について他、吉川美南駅周辺地域の開発、分権化の流れ、権限・財源移譲と今後の取組等について、質問を展開。(伊藤)

#### 予算・議案審議 3月1・4日

市条例の一部改正(介護福祉総合条例・地域密着型介護サービス関連条例、河川・道路・公園・下水道等)の他、市道の路線認定及び廃止(吉川美南・道庭・三輪野江他)について。また、25年度予算及び24年補正予算を審議。

議案では、市職員の定年・非常勤特別職の報酬・地域密着型サービスの設備及び運営に関する条例等について。予算関連では旅券事務やホームスタート等の新規事業を中心に質問を展開(稲垣)

準用河川条例。当初予算では、債務負担事業や子育て支援、拠点事業。介護保険特別会計予算についても質問。(伊藤)

#### 委員会審査

建設生活委員会に稲垣、総務水道委員会に伊藤が出席。3月6、11日迄開催。それぞれ詳細に質疑。

#### 議案一討論・採決 3月14日

25年度予算について(稲垣)が賛成討論。

「武蔵野地」早くも  
税込 1億1千万円

いとう 正勝

新駅と一体開発の武蔵野操車場跡地。運輸施設支援機構（清算事業団）が去年9月一括売却。大和ハウス、イオン、住友不動産の3社連合が購入。市の地区計画に沿って開発、整備が進んでいます。新駅の三郷より立地のイオンの施設はまだ着手に至りませんが、その用地を含めて課税の対象に。吉川市は今年、25年度に1億1千万円余の税込を見込んでいます。今後については立地の推移にもよりますが、固定資産税が1億3千万円、都市計画税が3千万円。あわせて1億6千万円程を見込んでいるとの事です。

新興住宅地も  
税込に寄与

この機会に駅南（美南）、きよみ野、中央土地についても税

収の実状報告を求めました。駅南は今年度固定資産税と都市計画税をあわせて3億3千万円。きよみ野は2億4千万円。中央土地は2億1千7百万円程が見込まれているとのことです。吉川市の25年度一般会計当初予算では固定資産税は35億8千万円。都市計画税は4億4千万円を見込んでいます。

「新産業」エリアに  
工場を呼び込んで

吉川市は第5次総合振興計画で、三輪野江の白地地区（農業振興法除外地区）と須賀・榎戸の一部を「新産業まちづくり」のエリアと位置付けています。つくば沿線の守谷では大きなビール工場が進出。税金はここだけで毎年10億円。4百人の雇用も生み出しています。周辺環境の変化で三輪野江のエリアも利用価値が高まっています。各種の法人や企業のパワーに委ねる形で大型の施設や工場を呼び込むことを検討しては

どうかと提言、質問しました。市長は現在新駅東口側に市施行で63haの「周辺開発」を計画し、県と調整している。東埼玉テクノポリスの拡張整備についても計画している。「新産業まちづくり」のエリアは将来構想として示したもので、地域や関係者の意向、社会経済情勢などをみて慎重に検討したいと答弁。

21世紀の新庁舎に  
吉川ブランド発信を

28年度竣工めざし、この5月中に基本計画策定へ。今回も代表質問、予算質問、一般質問、委員会質問で質問し提案しました。特に議会棟やロビー、会議室の開放を前提に多角的活用スペースの確保などにつとめ、21世紀型の庁舎を実現し「吉川ブランド」として全国に発信できるものにと稲垣議員とともに繰り返し求めていきます。新庁舎については別途詳細に報告をと考えています。



日本一

「住みやすさ日本一」をめざしたい。市長の施政方針演説。去年に続いて今年も。安倍首相の2月の施政方針演説では「世界一」が8回発せられた。

この種の表現は一つ間違えれば尊大、軽薄と受け取られる危うさを秘めているが、願わずばかなわぬの言葉もある。代表質問ではその心意気に寄り添った上で、何をどう推進、実現するのか。職員に浸透しているのか。市民と意識の共有をどうはかるのかと問いかけた。

分権化の流れ。地方政府吉川の存続と役割は一段と重くなっている。「ゆりかごから墓場まで」足元を見つめ固め直し、いま必要なことに集中する。「新庁舎」はそのシンボルとなる事業。市民を分断しかねない「フロリデーション」は日本一にはなじむまい。真贋が問われる春（とき）である。さくらは今年一足早く満開に。それぞれの場で明日に向かって、元気に一歩前へ。―自戒をこめて。いとう





# 動く 吉川橋・新駅・美南小・幼児教室 変わる

～最新情報 質疑と追加取材で～



## 吉川橋 車両用の仮橋設置

吉川橋は秋の交通量調査で平日で1万2千台。隣の吉越橋はレイクタウンの盛況で一段と渋滞が目立ちます。県土整備事務所では地元の要望を受けて検討の結果、吉川小寄りの用地について関係住民の協力も得られたことから最終的に車両用の仮橋設置を決定。夏休み明けに着手。来春には仮橋の完成を待って現橋の撤去工事へ。新しい吉川橋は両側に歩道つきで4車線。幅25m(現在2車線)。長さ203m(現在78m)。完成は6、7年後になるとのこと。

## 新駅 折り返し運転は13回

開業1年。吉川美南駅は2面3線。吉川駅は2面2線。増設の1線の活用はこの3月の強風の際、影響点検などで3回延べ7本の折り返し運転。1年間では13回にわたって折り返し運転など。利用客は最大1日7427人。この半年の平均は3100人程度に。

## 美南小 急がれる通学路設置

3月30日。盛大に開校式。中曽根小から分離して児童数437人、14学級でスタート。課題の一つは通学路の安全。PTAは学校北側の交差点に信号機設置を要望していますが、未着手。市教委では当面シルバー人材センターに要員の派遣を求め整理に当ることに。信号機設置の権限は県公安委員会。ここは若い県議の出番。迅速に予算の執行を。もうひと押し。

## 幼児教室 37年の歴史に幕

幼児教室は今年14人の卒園生を送り出し、37年間の歴史に幕を閉じました。幼稚園類似施設として吉川団地東側に市民・保護者の努力、協力を得て自主運営で発足。途中川藤の旧第1保育所に移設。延べ1007人が卒園。今後は新法人「NPO 子どもの広場おひさま」として活動予定。建物は市に返還。撤去、売却される見通し。

## 学校給食センター 始動

PFI。民間の資金と知恵を活用する事業方式で推進へ。今年度中にきよみ野5丁目北側に用地を購入、造成も。28年度の運用をめざして始動です。

### 編集後記

安倍政権が発足して3か月余。アベノミクス効果なのか、急激な円安、平均株価はリーマンショック(08年9月)前を抜けた。一部の企業では、ベアやポーナスの満額回答。景気の『氣』に変化の兆しも見えます。

内閣への支持率は70%を超え、事あるごとに素早く国民へのメッセージを発信し、民主党との違いを印象づけています。

しかし、日本が抱える課題や市民の暮らしはなにも変わってはいません。財政再建。経済の立て直し、格差社会そして福島原発事故・被災地の復興もこれからです。

技術力を誇った名門企業でさえ競争に敗れ、リストラで中高年は厳しい状況。まして下請では。生活保護受給者は増え続けています。

私が恐れ心配しているのは、『脱原発』からの脱『脱原発』。核のゴミすら処理できない、不確かな技術の中で再稼働へと向かっていくこと。そして、デフレからの脱却の為にインフレ政策。

お札をどんどん刷って市場に流すことで、本心に経済を立て直すことが出来るのか。需要不足の実体経済を金融政策で改善するのは正しいことでしょうか。

私たちは、バブルやリーマンショック、チェルノブイリ等、過去の経験や失敗からなにを学んできたのでしょうか。新自由主義の反省は忘れ、

将来にツケを回し、今だけ・自分だけよければそれで良いというのでしようか。

(いながき)